

# のり養殖通報 第13報

千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所  
千葉県農林水産技術会議 令和2年2月14日発行

## [気象・海況]

- 水温 13℃前後（新富津）で、平年と比較して約2℃高い状況です（図1）。2月上旬の冷え込みで、一旦平年レベルまで低下しましたが、現在は徐々に上昇しています。
- 栄養塩 多くの漁場で充分量あります（表1）。大貫沖でやや低下しています。
- 沖合水 直接的な波及は見られていませんが、大蛇行が継続しており接岸傾向にあります。
- 気象 週末まで曇雨天が多く、気温は高めで予報されています。その後は、寒暖を繰り返しながら、例年よりも高い気温で推移する見込みです。

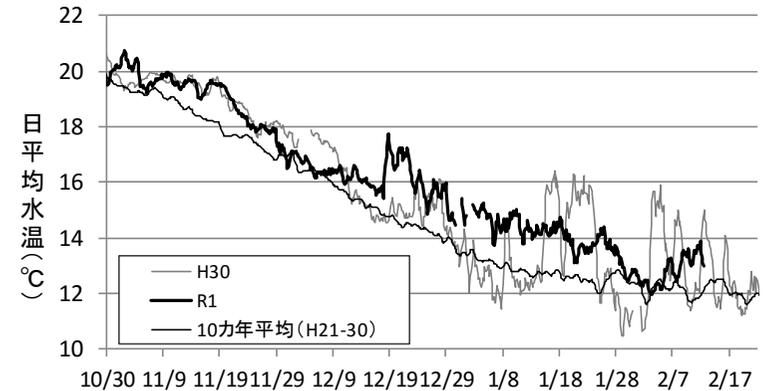


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

## [今後の留意点]

- ・生産状況は、短縮化の発生が弱まってきたことで、ようやく軌道に乗り始めました。
- ・現在、海水中の栄養塩は、ノリの生育や色調に必要な量が含まれています。
- ・今後、気温が高く、春の訪れも速いと予報されているため、競合するプランクトンの増殖次第では、栄養塩が減少する可能性もあります。
- ・ただし、今後も降水量は多いと予報されているため、色落ちが発生したとしても一時的で、回復する可能性は高いと思われます。
- ・そのため、4月末まで生産が継続できるように、定期的な活性処理など適切な網管理や、計画的に冷凍網の出庫を行って下さい。

表1 栄養塩（2/11, 12 観測結果） $\mu\text{g/L}$

	窒素	リン
船橋	566	23
木更津 (BC)	453	21
富津ベタ	314	19
2海ほ下	251	17
大貫沖	75	7